

じもとホールディングス 新中期経営計画

計画期間 2021年4月～2024年3月

- コロナ禍への対応を重要課題とし、グループの強みである「本業支援」をさらに深化させ、お取引先に貢献します。
- 次の5年、10年後を見据え、SBIグループ連携を積極活用し、業務変革のスピードアップ、経営管理の高度化を図ります。
- これらの取り組みを通じ、取引先業況の改善、グループ収益改善へつなげる「共通価値の創造」の実現を図り、業績回復を目指します。

じもとホールディングス(連結) 収益計画及び経営指標

	2021 3月期 (始期)	2022 3月期 (計画)	2023 3月期 (計画)	2024 3月期 (計画)
※1 コア業務純益	46億円	55億円	62億円	71億円
当期純利益	△31億円	31億円	37億円	45億円
※2 コアOHR	83.5%	80.7%	78.7%	75.8%
顧客向け※3 サービス 業務利益 (2行合算)	15億円	14億円	19億円	28億円

※1・2 投信解約益等(投信解約益+債券売却益)を除く

※3 顧客向けサービス業務利益
= 貸出金残高×預貸金利回差+役員取引等利益-営業経費

経営理念

宮城と山形をつなぎ 本業支援を通じて 地元中小企業や地域に貢献

コロナ禍 変革待ったなし

5年、10年後の想定社会が一気に到来

行動パターン急変(非対面、非接触、分散)

中期経営計画方針

「コロナ禍へ対応」 ・ 「グループの強みに特化」 ・ 「じもとHD、次の5年・10年へ」

本業支援の深化

コロナ禍、いまこそ
「本業支援」

経営改善・事業再生

資金繰り支援

仙台地区戦略

業務変革(DX)

新たな業務プロセス
効率化、サービス拡充

店舗戦略見直し・人員戦略

業務プロセス見直し

コスト削減

経営管理

ガバナンス態勢の実効性向上
子銀行管理・グループ監査

資本政策

SDGs・ESG

新しい働き方・人材育成

SBIグループ連携の積極活用

FinTech技術・外部知見・人材派遣 / レベルアップ・スピードアップ

目指す姿 (共通価値の創造)

取引先の業況改善・地域発展

当グループ収益改善